

東海第二原発に関する 市長の政治姿勢

小室 日本原子力発電は、東海第二原発の適合審査を原子力規制委員会に申請しました。この申請に対する市長の見解を聞きます。

市長 再稼働については反対です。しかし、再稼働ではなく廃炉に向けた安全基準の申請であるなら申請に反対するわけにはいきません。

小室みえこのコメント



市長は「再稼働反対」の見解をはつきり述べました。

日本原子力発電は、審査の会合で事故対策や想定地震の質問に「詳細を確認中」「社内で検討中」などと曖昧な回答を連発し、基準を満たしているとの裏づけを揃えないまま申請したのかと、原子力規制委員からも厳しい指摘が相次ぎました。

野田市は東海第二原発から80キロ圏内にあること、野田市直近の常磐自動車道がブルトウム燃料輸送に利用される懸念もあり今後廃炉を訴えていきます。

子どもや保護者、教員の 意見をもっと聞くべきだった 「土曜授業がスタートしましたが」



土曜授業開始直後にアンケートを実施した理由は、スタート直後と経過後との違いを把握するためであったということでした。結果から明らかになった最大の課題は、学力向上の効果に対して否定的な教員が多いことでした。今後は、有用だと感じる学校の取り組みなどを紹介して工夫・改善を行うとのことでした。

また、アンケート対象を抽出校としていますが、学校によって教科の選択、時間数がまちまちであることや地域性を考慮するために全部の学校を対象にすべきだと指摘しました。しかし、教育委員会は抽出校で傾向が図れるとしています。
教育委員会は、児童、生徒が自分の考えを自分の言葉で表現することが重要だと言いながら、その機会を設けてきませんでした。当事者の意見を聞く姿勢を持つべきです。

土曜授業アシスタントは 個人情報扱うの？

小室 サタデースクールの経験者や保護者から、土曜授業のアシスタントは、個人情報を知り得る機会があるのでは？と心配する声があがっています。

教育部長 プリントやミニテストの丸付けを行う点では個人情報扱うことになるが、それ以外はなく、個人情報の漏えいや紛失、不祥事防止について指導を徹底していきます。

「子ども子育て支援事業」 に幅広い声を求める

平成26年度は、子ども子育て支援計画を策定する年です。野田市ではエンゼルプランに含める形で、児童福祉審議会が計画を立てるとしています。野田市内で子育て支援に関わる現場の声を計画に反映させてほしいというご意見を頂き、質問を行いましたがこの主張は通りませんでした。

今後は、計画策定を見据えながら、子育て支援団体や保護者の意見を反映させることができよう活動を進めます。

市民ネットワーク 意見書を提出

大飯原発の運転差し止めを命じた福井地裁判決を重く受け止め、安易な再稼働に走らない事を求める意見書

(提案の理由) 今回の判決は①東京電力福島第一発電所の事故故を重大だと認識し正当に評価②原子力運転上の科学的特性を的確に把握③地震の際の大飯原発の構造上の欠陥を指摘④原発の稼働をあくまでも経済活動の自由に属するものとして、憲法上の人格権を優位においた。以上の点でこれまでの国内の原発関連の裁判でも歴史上特筆すべき判決です。

しかし、関西電力だけでなく安倍政権も「原発を重要なベースロード電源と位置づける基本計画」の変更はないと言っています。この判決が指摘する危険性への対応策とともに再生エネルギーへの大転換を実現させるべく国民的な議論を求めるものです。

これに対して再生エネルギーへの大転換は現実的ではないと考えるという反対討論があり反対多数で否決されました。

積極的に原発を止める気がないのね!